

がん検診をうけましょう



消化器科

まつもとひろし
松本啓志先生

はじめまして。本年度4月より木曜日に消化器外来を担当させて頂くことになりました、川崎医科大学 食道胃腸内科の松本と申します。

専門は消化器、なかでも食道・

胃腸疾患を診させていただきます。多い疾患としては、逆流性食道炎、慢性胃炎、ピロリ菌感染胃炎、胃十二指腸潰瘍、胃癌、過敏性腸症候群、便秘・下痢、食中毒、慢性炎症性腸疾患などです。

本年4月の新聞にも載っていましたが、今年ついに大腸癌が癌の中で一番多い疾患になりました。また、癌で亡くなる方の中で大腸癌は男性3位、女性では1位です。皆さん、大腸癌検診は受けておられますか？

当院では、一次検診として便潜血検査(2日法)を行い、そこで1回でも陽性であれば、精密検査が必要です。「私は痔(じ)があるから陽性になったんだわ」と思っている方、ご用心です。確かに痔でも陽性になりま

すが、大腸にポリープが同時にあることもよくあります。是非、精密検査である大腸内視鏡検査を受けて下さい。検査に関して、心配、不安がある方も是非受診して相談して下さい。

また、ご存知の方も多いかと思いますが、胃に関してはピロリ菌の検査をすることが今や常識になってきています。一度検査を受けて陽性の方は是非除菌治療を受けて下さい。

これからは病気にならないようにする、病気を未然に防ぐ時代です。是非、当院でご相談下さい。

松本先生は毎週木曜日午後の消化器科外来を担当されています。

Doctor's Eyes